

豊田市公共交通会議

平成25年度

【第1回会議資料】

平成25年6月25日

平成25年度における取組みについて (予 定)

項目	2010(平成22)					2011(平成23)					2012(平成24)					2013(平成25)					2013(平成26)					中長期																																																																																																																																																																														
鉄道	愛知環状鉄道																									生活交通改善事業計画策定検討																																																																																																																																																																														
	三河八橋駅周辺高架化事業																																																																																																																																																																																																							
																										若林駅周辺高架化事業																																																																																																																																																																														
																										竹村駅～上挙母駅間の平面複線化 (鉄道事業者)																																																																																																																																																																														
名鉄三河線、豊田線	土橋駅橋上駅化・駅前広場事業																																																																																																																																																																																																							
バス	【4月】 既存路線のルート変更 ・川口・飯野線																									【4月】 地域公共交通確保維持改善事業																																																																																																																																																																														
	【8月】 既存路線のルート変更 ・豊田・渋谷線 ・中心市街地玄関口バス																									【8月】 既存路線のダイヤ改正 ・豊田東環状線 ・土橋・トヨタ記念病院線																									【9月】 既存路線の変更 ・中心市街地玄関口バス																									・共通ICカード導入検討																																																																																																																												
	【9月～11月】 評価結果を受けて、路線の改編案を検討																									【10月】 新規路線運行開始 ・(仮)三河豊田・豊田線 ・(仮)土橋・トヨタ記念病院線 既存路線のルート変更 ・旭・豊田線 燃料電池バスの導入 ・(仮)三河豊田・豊田線 (仮称)団体定期券の販売																									【10月】 新規路線運行開始 ・上郷・若林線																									【12月】 既存路線のルート変更 ・中心市街地玄関口バス																									【4月】 既存路線のダイヤ改正、系統新設 ・豊田東環状線 既存路線のダイヤ改正 ・上郷・若林線																									【8月～11月】(予定) 評価結果に基づいた路線の改編案を検討																									改編した路線での運行開始 (予定)																																																	
	【11月、12月】 バス優先走行社会実験																									改編した路線での運行開始																																																																																																																																																																														
地域バス等の充実	【4月】 既存路線の変更 ・藤岡地域バス ・水源東バス ・松平ともえ号																									【8月】 既存路線の変更 ・藤岡地域バス																									【4月】 既存路線の変更 ・藤岡地域バス・足助地域バス ・旭地域バス・松平ともえ号 ・しもやまバス																									【4月】 既存路線の変更 ・稲武地域バス・藤岡地域バス ・小原地域バス・足助地域バス ・旭地域バス・松平ともえ号																									【10月】(予定) 既存路線の変更 ・しもやまバス																									【10月】(予定) 新規路線運行開始 ・(仮称)上郷地域バス 路線廃止 ・福祉バス高嶺交流コース																									【8月～11月】(予定) 評価結果に基づいた路線の改編案を検討																																																	
	【9月～11月】 評価結果を受けて、路線の改編案を検討																									【10月】 既存路線の変更 ・福祉バス高嶺交流コース 社会実験 ・上郷地域バス																									【1月】 既存路線の変更 ・水源東バス																									【1月】(予定) 新規路線運行開始 ・(仮称)上郷地域バス 路線廃止 ・福祉バス高嶺交流コース																																																																																																																												
	【10月】 路線廃止 ・平井バス																																																																																																																																																																																																							
バス評価	【7月】 評価指標に基づいたバス路線の評価実施																																																		【5月～3月】 評価基準の見直し及び評価のためのアンケート調査実施																									【7月】(予定) 別紙 評価指標に基づいたバス路線の評価実施																																																																																																																												
交通結節点整備	バス待合施設(バス停上屋)整備 1箇所: 豊田スタジアム東(下り線) パーク&ライド駐車場整備 末野原駅前駐車場整備、運用開始																									パーク&ライド駐車場整備 工事1箇所: 八草駅前駐車場拡幅整備、運用開始 有料化5箇所: 末野原駅、四郷駅、保見駅、貝津駅、八草駅																																																																																																																																																																														
利用促進策の展開	《社会実験》 ・環境家族定期券割引制度検討 ・平日昼間割引回数券の販売検討																									【2月】《社会実験》 環境家族定期券割引制度開始																									《社会実験の評価》 ・環境家族定期券割引制度 ・平日昼間割引回数券																									【8月】 スマイル085(おやこ)キャンペーン																									【2月】 地域公共交通シンポジウムinとよた																									(予定) バス利用促進プランの作成																									(予定) 他団体との連携による利用促進策の展開																																																	
バスロケーションシステムの導入																									デマンドバス運行システムの活用																									バスロケーションシステムの拡大																									ICカード乗車券の導入 検討																																																																																																																													

はじめに

バスの評価とは？

市では「**豊田市公共交通基本計画**」を策定し公共交通の整備をすすめています。より良い地域の公共交通を築き上げるためには、利用の実態や運行の状況を把握しながら、定期的に「評価」を行って改善していくことが重要です。

市民の移動手段確保は大切ですが、バスの運行には多くの費用がかかります。平成23年度は、「**基幹バス（とよたおいでんバス）**」や「**地域バス**」を運行するために、**約6億3千万円を市が負担しました**。これは、**市民一人あたり、年間約1,500円の税金を使っていること**になります。

公的な財源に頼るからには、多くの市民が利用するバスでなければなりません。一方で、バスが地域にとって「必要なもの」であれば、利用者が少なくても運行しなければならない面もあります。

したがって、市では「利用者や地域がみんなで支えるバス」を目指して、バスの運営や利用の実態をふまえ、以下の視点で定期的に評価を実施していきます。

評価の目的

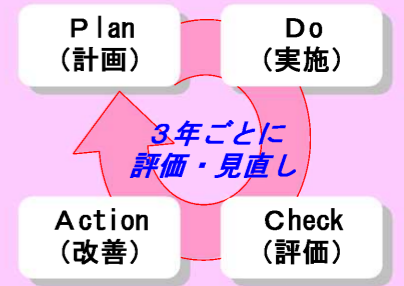
豊田市が実施しているバス交通施策（基幹バスおよび地域バス）が社会資本であるという視点に立ち、その**利用実態と効果に対する「公的資金投入」の妥当性を評価**し、効率的な施策の実施を目指すことを目的とします。

変更点

2回目の評価です!!

PDCAの1サイクルを3年として、3年目に「評価」を実施するという仕組みです。最初の3ヶ年の評価は平成22年7月に実施しており、現在は2巡目のサイクルに入っています。

平成25年度に実施する2回目の評価にあたり、適用する「評価基準」等の見直しを実施しました。初回評価からの主な変更点は以下のとおりです。



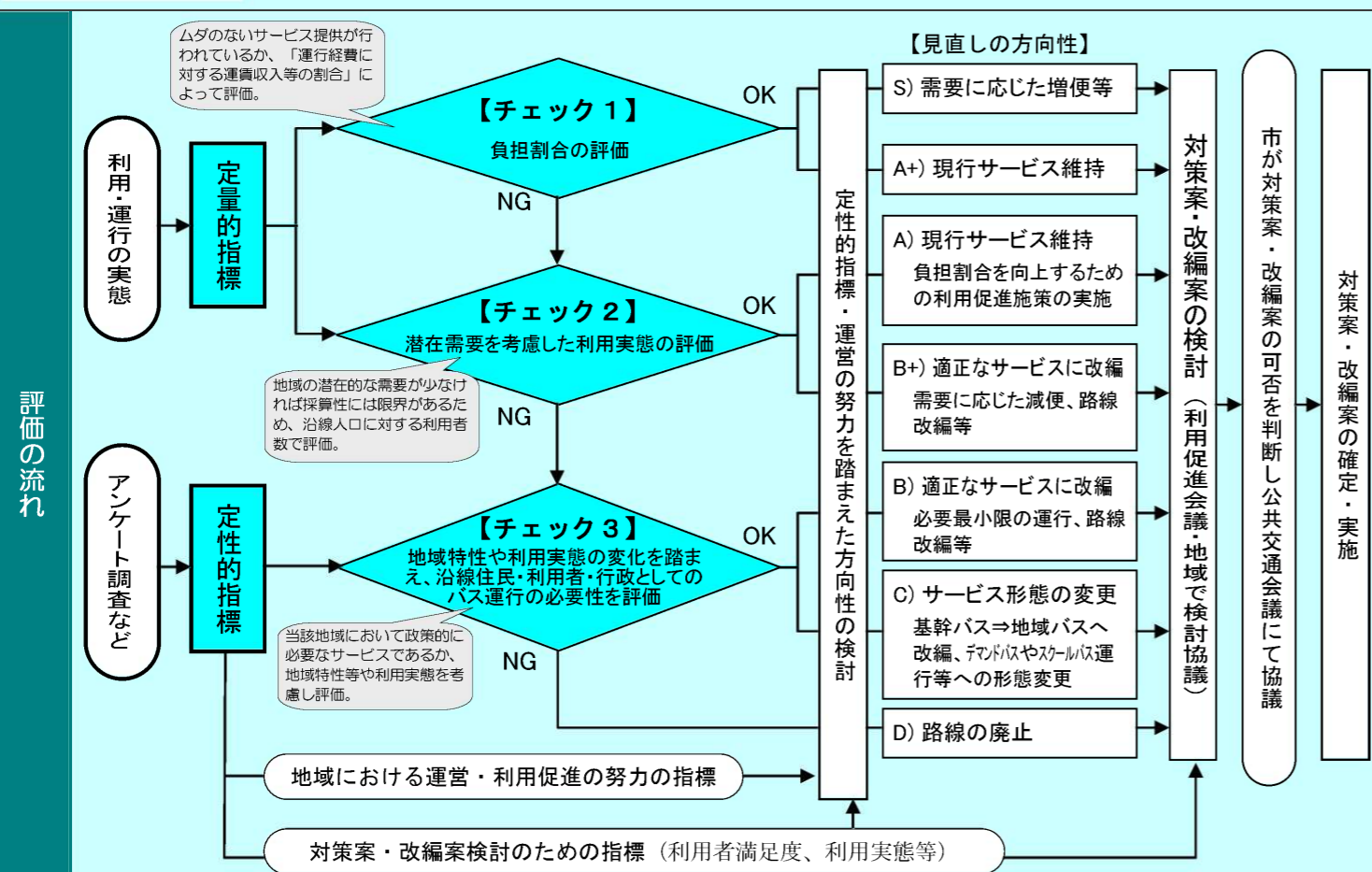
- ① 指標値の算出方法: チェック1 指標値の算出において、市が購入し事業者に貸与しているバス車両の購入費用を12年償却で計上します。
- ② 評価基準の変更: チェック2の指標基準を、「沿線人口100人あたり6.4人」に引き上げます。（地域バスは沿線高齢者人口100人あたり）
- ③ 定性的指標の更新: 地域バスに関する新たな評価視点として「運営組織の努力」を追加しました。

評価方法

どのように評価する？

はじめに、数値データに基づき「運営状況の評価(チェック1)」「利用実態の評価(チェック2)」を行います。3年間のサイクル毎に評価基準(目標値)を設定し、この基準を満たしているか否か、チェックします。次に、どちらも基準を満たさないようなバス路線は「必要性の評価(チェック3)」として数値では表すことができない意識調査結果などの評価も行います。

- 定量的指標は・・・具体的な数値基準で評価するものです。（基幹バスと地域バスで基準が異なります。）
- 定性的指標は・・・路線や沿線地域の特徴や、市民・バス利用者の満足度など、様々な観点から運行実態や意見を把握し、数値では表せない状況を考慮して評価するものです。



	基幹バスの評価基準	地域バスの評価基準
【チェック1】 運行経費に対する負担割合	運賃収入等により、運行経費の 4/10 以上が確保できていること	運賃収入等により、運行経費の 1/10 以上が確保できていること
【チェック2】 沿線人口に対する1日当り利用者数	沿線人口 100人 あたり、1日平均利用者数 6.4人 以上あること	沿線高齢者人口 100人 あたり、運行日1日平均利用者数 6.4人 以上あること
【チェック3】 定性的な指標による評価	沿線住民としての必要性 ① バスの存在価値 ・住民はバスを必要と考えているか ② 協力意向 ・地域で支えようという意志はあるか	利用者としての必要性 ① バスの存在価値 ・バス以外の手段があるか ・価値を感じているか ② バスによる目的達成 ・行動目的は達成できているか
	行政としての必要性 ① 市民賛同 ・市民の理解が得られているか ② 政策上の必要性 ・公共交通網として、また他施策との関連から必要か	
その他 定性的視点	これまでの推移と可能性 定量的指標の推移や今後の可能性を確認する	
	バス運営組織の努力 地域のバス運営組織はバス維持のために、どのような努力をしているか、確認する	

2回目の評価の流れ

：3年目の「評価」に直接関わる内容

